

8月20日(土)・21日(日) 模擬授業

8/20(土)			
学科	担当教員	模擬授業タイトル	説明文
英語文化コミュニケーション学科	金澤洋子教授	コミュニケーションのルール	我々が円滑にコミュニケーションを営む際に、お互いに行なっている暗黙のルールについて、いくつかの考え方をご紹介します。
日本語日本文学科	小柳智一教授	自己紹介する生き物たち ー日本語の隠れたオノマトペー	身近な生き物たちと日本語の意外で面白い関係を解き明かします。子どもの時に抱いた疑問が解けるかもしれませんよ。
哲学科	長野美香教授	女子大で女子の底力を考える	日本女性の代名詞ヤマトナデシコ。なんだか弱々しいネーミング…。でも古代の太陽神アマテラスは女神。女子の底力について考えてみましょう。
史学科	土田宏成教授	20世紀初めの国際的な災害救援	現在他国の災害に対してお見舞いのメッセージや義援金を送ったりすることは、ふつうのことになっています。その始まりを考えます。
人間関係学科	木戸功教授	家族について考える	身近な存在であるはずの家族についてあらためて考えてみます。実はけっこうややこしい。家族とは何か？一緒に考えてみましょう。
国際交流学科	久保田知敏准教授	台湾から考える	スイーツや夜市などでなじみのある台湾ですが、その台湾から東アジアの近代を考えてみましょう。
心理学科	岸本 健教授	心を測るとはー心理学入門ー	目に見えない心をどうすれば研究できるでしょうか。今回の講義では、「人名」や「Twitter」など、意外なところから心を捉えた心理学の最新研究を紹介します。
教育学科	杉原 真晃教授	「子育て」は誰が行うのが良い？	「三歳児神話」という言葉があります。「少なくとも子どもが幼いうちは母親が子どもを育てるのが良い」という考え方を指します。さて、ホントかウソか、どちらなのでしょうね…。

8/21(日)			
学科	担当教員	模擬授業タイトル	説明文
英語文化コミュニケーション学科	山田由紀教授	映画の言葉（英語）が心に響くとき ー母と娘の物語ー	映画の脚本から、移民の家族の会話や語りに注目します。母が“hope”という一言にこめた想いを、娘そして私たちはどのように受けとめるのでしょうか？
日本語日本文学科	岩田一成教授	やさしい日本語によるコミュニケーション	在住外国人の82%は、日本語ができると答えています。日本人が話し方を少し工夫すれば、コミュニケーションは円滑になります。
哲学科	加藤好光教授	ビートルズの詩と音楽	主に「愛」についての曲を取り上げます。“The Word”, “Within You Without You”, “Because”の歌詞は各自で持ち寄りの上で受講してください。
史学科	桑名映子准教授	ハプスブルク帝国皇后エリザベート ーミュージカルと現実の間ー	美女として知られ、ミュージカルの主題にもなっているエリザベート。華やかさの裏で、家族との不和や心身の不調に悩んでいた皇后の生涯をたどります。
人間関係学科	岩原紘伊専任講師	コミュニケーションとしての贈り物	贈り物をやり取りすることも、私たちにとって社会関係を維持するための重要なコミュニケーションの一部です。文化人類学の議論から、贈り物について考えます。
国際交流学科	Steve Corbeil 准教授	地球村時代の国際関係 あなたの隣人は誰ですか	本当の他者は誰でしょうか。隣の席に座っている同級生、あるいは、コンピューターの画面の向こうにいる異国・異文化の人ですか。この授業では、多文化理解を盛り込んだ新コミュニケーション方法を紹介します。
心理学科	中野博子教授	子どもの心理的支援とは？ ー心理臨床家の立場からー	養育者の方がお子さんの状態について心配されて相談に見えるとき、心理臨床家が行うプレイセラピーなどの支援の方法について簡単に紹介させていただきたいと思います。
教育学科	小山裕樹准教授	「教育」の「根っ子」を探る！ ー皆さんは「教育」をどう見えていますか？ー	皆さんがこれまで「学校」や「塾」や「家庭」などで当たり前のように接してきたあの「教育」と呼ばれる営み。その「教育」の「根っ子」にあるものを探ります。